



建築デザインサポート研究室

技能工芸学部
建設学科

澤田 正樹

Sawada Masaki

教授、博士（工学）

一級建築士

設備設計一級建築士

建築基準適合判定資格者

省エネ基準適合判定資格者

Key word

建築環境デザイン、規制・基準、トラブル回避

多領域を横断した建築設計教育・研究

分野 支援可能な分野

- 意匠・設備などの分野を横断した設計教育
- 建築にまつわる規制・基準の分析
- 設計者によるトラブル回避啓発

業績 主な実績・業績

- 設計：立業社ビル（意匠設計担当）
第4回サステナブル建築賞審査委員会
奨励賞 他多数受賞
- 著書：建築紛争から学ぶ設計実務(第8章)
日本建築学会編, 丸善出版
- 研究：調停実績報告書による建築紛争に至る仕組みに関する研究
- 研究：不具合から発展する建築紛争の傾向と設計・監理者による紛争回避方策 他

学会 学会・委員会

- 日本建築学会司法支援建築会議調査研究部会委員
- 東京地方裁判所民事22部借地非訟事件鑑定委員
- 民間(七会)工事請負契約約款委員会委員
- 日本建築士会連合会建築技術等部会委員
- さきたま古墳公園子ども遊び場事業検討委員会
副委員長

設計 建築・設備を融合した デザイン教育

1 建築環境デザイン

建築業界では、特に設備分野の人材不足が深刻化しています。学生にとっても設備分野は心理的ハードルが高く、敬遠されがちな領域でもあります。そこで、意匠設計者としての環境デザイン経験を生かし、学生が省エネルギーなどにも関心をもつきっかけをつくるとともに、設備の知見を兼ね備えた意匠設計者を育成する教育に取り組んでいます。



立業社ビル：CASBEESランク



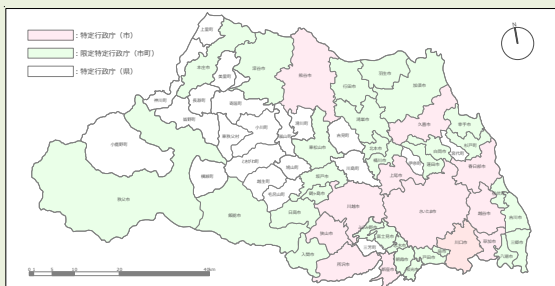
快適住宅コンテスト入選案

設計実務において、後回しにされがちな部分によって発展するトラブルから回避する研究や啓発活動をしています。

研究 規制・基準の研究・啓発

1 建築関連法規の体系・経緯

規制となる建築関連法規はものづくり根底となる領域です。しかしながら、専門性が高いことから、一級建築士でも経験に依存することが多く、正確に理解できる人材の需要が高まっています。当研究室では、設計・監理者の視点にたった規制・基準に関する研究を通じて、建築法規に関して社会に出ても通用するスペシャリストを育てます。



埼玉県内特定行政庁

2 大学・企業向けセミナー

設計者を目指している学生や、設計事務所などの企業に向けて、法規制に関することやトラブル回避に関するセミナーを行っています。



大学院建築学専攻向けセミナー

研究 トラブル事例の蓄積・分析

1 トラブル事例の多角的検討

建築に関するトラブルはさまざまです。建築設計や施工に限らず、法規制に関することや、設備といった技術的側面における基準もあり、トラブル回避に当たって、統合的な専門知識を要します。このような事例にも対処するべく、検討および分野を横断した多角的分析を進めています。



著書(共同)

2 事例蒐集

研究において、データの蒐集は不可欠です。トラブル回避におけるデータは、主に判決文などの建築紛争事例になります。しかし、建築に限らず事件は特別な法律系雑誌などを除いて紹介されていません。そこで、法律系の書籍などのほか、裁判所や日本建築学会司法支援建築会議を通じて、建築紛争事例を蒐集しています。



日本建築学会司法支援建築会議HP

一言Message

意匠設計実務において、デザインのほかに法規・設備・省エネなど、サポート部分にも着目した研究・トラブル回避啓発活動をしています。